SONY

3-867-372-**05** (1)

TV(1-12ch)/FM/AM PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-T510V

目次

ラジオを聞く

その他

主な特長

- **バンド切り換えやモード設定が指1本でできるジョグレバー搭載**
- 日本全国の放送局を簡単に選局することができます。
  —スーパーエリアコール機能
- TV、FM、AM合わせて7局の放送局を記憶させることができます。
  —マイメモリー機能
- 希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。
  —アラーム機能・タイマー機能
- 電車内など、雑音が気になるときに雑音を低減して放送を聞きやすくする回路を搭載しています。
  —ノイズカット機能
- 節電のため自動的に電源を切ることができます（時間設定が可能）。
  —パワーオートオフ機能

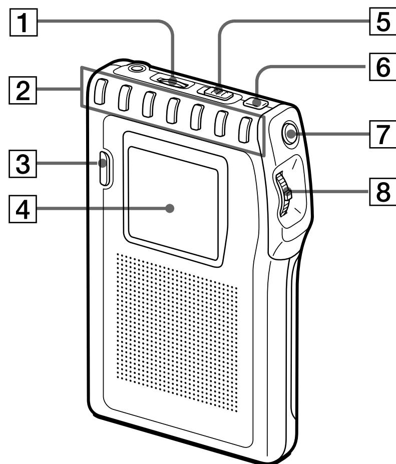
設定モード一覧

モード名（参照ページ）	機能	電源
時刻設定（14）	時刻を合わせる	入・切時設定可能
アラーム設定（16）	設定した時刻にブザーを鳴らす	
タイマー設定（18）	設定時間後にブザーを鳴らす	
オートオフ設定（20）	自動的に電源を切る （120・90・60・30・OFF）	
選局モード（エリア／マイ） 設定（27・30）	エリア：スーパーエリアコール 選局で選局した放送局を聞く マイ：マイメモリー選局で記憶させた放送局を聞く	入時のみ設定可能
エリア設定（25）	ラジオを使う地域を選ぶ	
サテライト設定（28）	サテライト局を選ぶ	

各部のなまえ

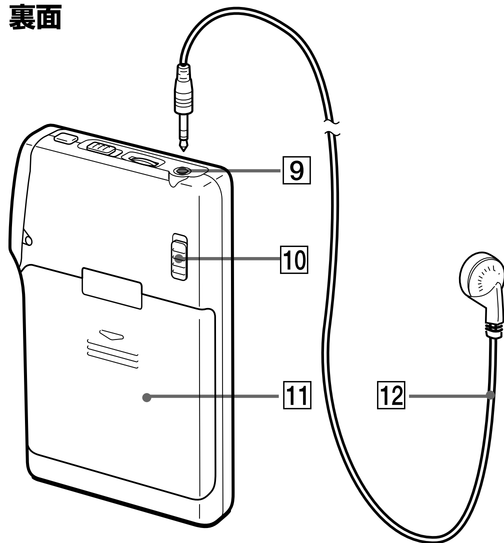
本体

表面



1 **音量**
2 **プリセット選局（1～7）**
（25ページ）
3 **ノイズカット**（21ページ）
4 **表示窓**（8ページ）
5 **ホールド**（22ページ）
6 **電源**
7 **設定**
8 **ジョグレバー（決定／バンド）**
（10ページ）

裏面



9 ◎（イヤーレシーバー）端子
（Φ3.5mm ミニジャック モノラル）
モノラルイヤーレシーバーをつなぎます。

10 ◎（イヤーレシーバー）／
◁（スピーカー）切り換え
◎に合わせるとイヤーレシーバーから、◁に合わせるとスピーカーから音が聞こえます。

11 電池入れ（12ページ）

12 モノラルイヤーレシーバー

表示窓


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
設定
時刻 アラーム タイマー
オートオフ 選局モード
エリア サテライト
オートオフ
ノイズカット
エリア
マイ
M
TV
FM
AM
PM
MHz
kHz

1 **設定モード名表示**

2 **エリア表示**（25ページ）
スーパーエリアコール選局モードで受信しているときに表示されます。

3 **オートオフ表示**（20ページ）
パワーオートオフ機能が設定されているときに表示されます。

4 **電池残量表示**（13ページ）
乾電池の残量が表示されます。

5 **ノイズカット表示**（21ページ）
ノイズカット機能が働いているときに表示されます。

6 **マイ表示**（30ページ）
マイメモリー選局モードで受信しているときに表示されます。

7 **TV・FM・AMバンド／AM・PM表示**

8 **アラーム表示**（16ページ）
アラームが設定されているときに表示されます。

9 **タイマー表示**（18ページ）
タイマーが設定されているときに表示されます。

10 **ホールド表示**（22ページ）
ホールド機能が働いているときに表示されます。

11 **プリセット選局番号表示**（25ページ）
プリセット選局で受信しているときは、選択されているプリセット選局ボタンの番号が表示されます。

12 **ラジオ周波数／時刻表示**

ジョグレバーの使いかた

ジョグレバーは「上下に動かす／押す」の操作で、バンド切り換え、時計合わせや選局、設定などができます。各設定を行う場合は、設定ボタンを押して設定モードにしてから操作します。

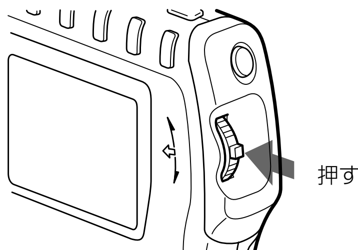
持ちかたの例	操作	
	動かす＝設定モードや、周波数を選びます。	**押す**＝バンドの切り換えや、表示された機能を決定します。

操作の例：ラジオを聞く（マニュアル選局）

各操作については、それぞれのページをお読みのうえご使用ください。

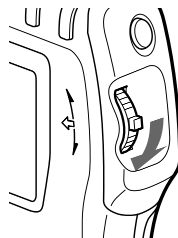
1 **電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。**

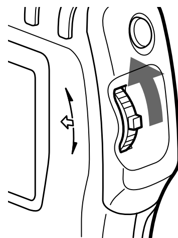
2 **ジョグレバーを押して、バンドを選ぶ。**



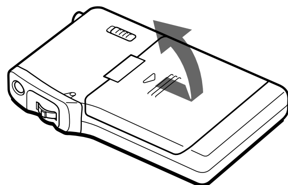
3 **ジョグレバーを動かして、聞きたい放送局を受信する。**

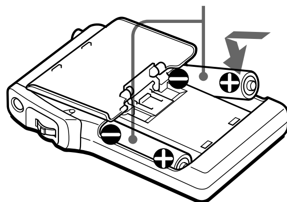
下に動かすと数字が増え、上に動かすと減ります。動かしたままにすると速く変わります。





乾電池を入れる





1 電池入れのふたを開け、乾電池を入れる。

初めて乾電池を入れると、「AM12：00」が点滅します。時計を合わせると点滅は止まります。時計を合わせるときは、「時計を合わせる」（14ページ）をご覧ください。

2 ふたを閉める。

乾電池の持続時間

ソニー単4形（R03）マンガン乾電池使用時

(JEITA*)

放送の種類	持続時間	
	イヤーレシーバー使用時	スピーカー使用時
TV放送	約18時間	約9時間
FM放送	約33時間	約13時間
AM放送	約50時間	約17時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

乾電池の交換時期

表示窓に「 」が点滅しているときは、2本とも新しい乾電池に交換してください。

電池の残量がなくなってくると、表示窓でお知らせします（電源が入っているときのみ）。

残量表示



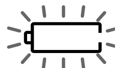
残量は充分です。





残量が少なくなってきました。





電池が消耗しています。乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

ご注意

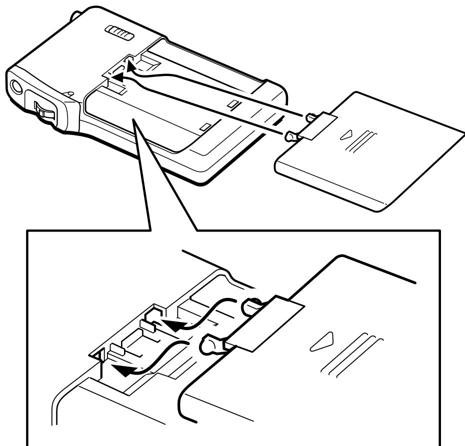
- 交換するときは、60秒以内に入れ換えてください。60秒以上経過すると、現在時刻やマイメモリー機能で記憶させた放送局が消えてしまいます。そのときはもう一度設定し直してください。
- 交換した後、電源ボタンを押すと、表示窓の「 」は「 」に変わります。

パワーオートオフ機能について

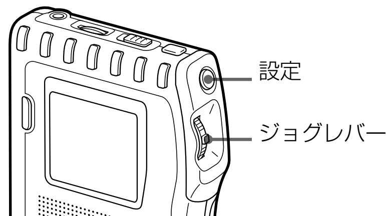
ラジオの電源の消し忘れによる乾電池のむだな消耗を防ぐため、設定した時間で自動的に電源が切れるようになっています。（お買い上げ時は90分に設定されています。）詳しくは20ページをご覧ください。

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は、図のように取り付けてください。



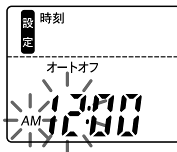
時計を合わせる



1 設定ボタンを押す。



2 ジョグレバーを動かして「時刻」を選び、ジョグレバーを押す。

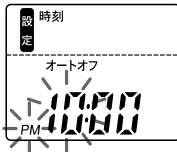


3 ジョグレバーを動かして時を合わせ、ジョグレバーを押す。

AMは午前、PMは午後です。

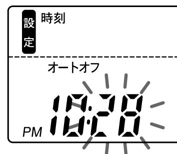
AM12:00 ＝ 真夜中

PM12:00 ＝ 正午



4 手順3と同様に分を合わせ、ジョグレバーを押す。

表示窓の「：」が点滅を始め、時計が動き出します。電源を入れているときにジョグレバーを押すと、受信している周波数が表示されます。



時報（電話117番など）と同時にジョグレバーを押すと、より正確な時刻が設定できます。

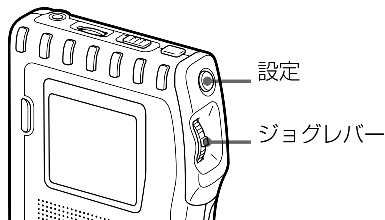
ご注意

設定ボタンを押してから約60秒以上操作を行わないと、自動的に設定メニューに入る前の状態に戻ります。設定を途中でやめたいときには、もう一度設定ボタンを押します。

希望の時刻にブザーを鳴らす—アラーム機能・タイマー機能

ラジオの電源の入切にかかわらず、希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。
時刻の設定には2通りの方法があります。
- アラーム：何時何分と時刻を設定する
- タイマー：1分後から180分後(3時間後)まで、1分刻みで設定する

アラームを設定する

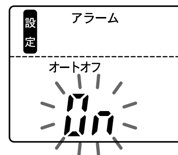


1 設定ボタンを押す。

2 ジョグレバーを動かして「アラーム」を選び、ジョグレバーを押す。

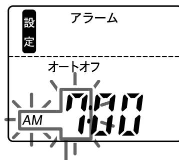


3 ジョグレバーを動かして「On」を選び、ジョグレバーを押す。



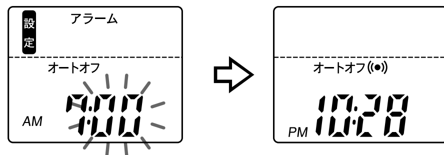
4 ジョグレバーを動かしてブザーを鳴らす時に合わせ、ジョグレバーを押す。

例）午前7時に鳴らすとき



アラーム設定をしている間点滅

5 手順4と同様に分を合わせ、ジョグレバーを押す。



電源を切っているときに設定すると、表示窓に時刻が表示されます。

電源を入れているときに設定すると、表示窓に受信している周波数が表示されます。

表示窓に「((•))」が表示され、設定した時刻になるとブザーが鳴ります。

ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

ブザーを止める

どのボタンを押しても止まります。ホールド機能を働かせていてもブザーは止まります。止めない場合は約3分間鳴り続けます。

アラームを解除する

手順3で「OFF」を選びます。

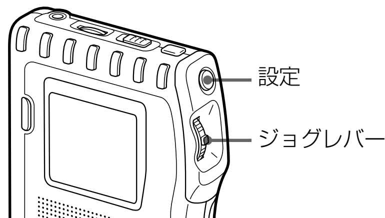
表示窓の「((•))」が消えます。

次ページへつづく

ご注意

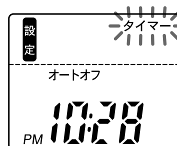
- 時計を合わせていない（「AM 12:00」が点滅している）状態でアラームを設定すると、その時点で時計が動き始めます。
- アラームの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定ボタンを押してから約60秒以上操作を行わないと、自動的に設定メニューに入る前の状態に戻ります。設定を途中でやめたいときには、もう一度設定ボタンを押します。
- ブザーの音量は一定です。

タイマーを設定する

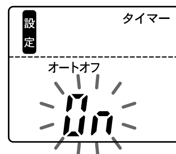


1 設定ボタンを押す。

2 ジョグレバーを動かして「タイマー」を選び、ジョグレバーを押す。



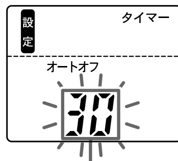
3 ジョグレバーを動かして「On」を選び、ジョグレバーを押す。



4 ジョグレバーを動かして何分後にブザーを鳴らすかを選び、ジョグレバーを押す。

1分後から180分後（3時間後）まで1分刻みで設定できます。

例）30分後に鳴らすとき



タイマー設定をしている間点滅

表示窓に「⏲」が表示され、設定した時間が経過するとブザーが鳴ります。
ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

ブザーを止める

どのボタンを押しても止まります。ホールド機能を働かせていてもブザーは止まります。止めない場合は約3分間鳴り続けます。
ブザーを止めるとタイマーは解除されます。

タイマーを解除する

手順3で「OFF」を選びます。
表示窓の「⏲」が消えます。

ご注意

- タイマーの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定ボタンを押してから約60秒以上操作を行わないと、自動的に設定メニューに入る前の状態に戻ります。設定を途中でやめたいときには、もう一度設定ボタンを押します。
- ブザーの音量は一定です。

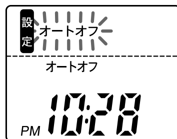
希望の時間に電源を切る

—パワーオートオフ機能

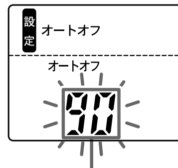
ラジオの電源の消し忘れによる乾電池のむだな消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる時間を設定することができます(30分、60分、90分、120分)。また、この機能を解除することもできます。

1 **設定ボタンを押す。**

2 **ジョグレバーを動かして「オートオフ」を選び、ジョグレバーを押す。**



3 **ジョグレバーを動かして設定したい時間を選び、ジョグレバーを押す。**
ジョグレバーを動かすと設定時間が次のように変わります。



→90 ↔ 120 ↔ OFF ↔ 30 ↔ 60 ←

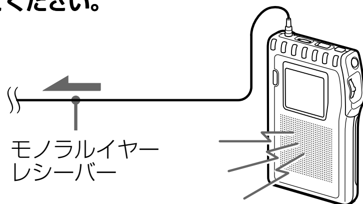
パワーオートオフ機能を解除する

手順3で「OFF」を選びます。
「オートオフ」の表示は消えます。

受信状態を良くする

TV／FM放送の場合

使用するイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてください。

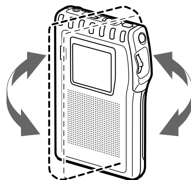


スピーカーで聞く場合も、必ずイヤーレシーバーをつなぎ、コードをできるだけ長く伸ばしてください。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

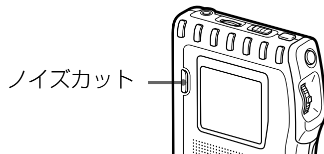
AM放送の場合

AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。もっとも良く受信できる向きにしてお聞きください。

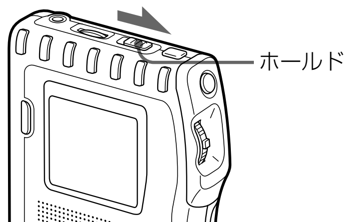


電波が弱く、雑音が気になるときは

ノイズカットボタンを押してください。



誤操作を防ぐ —ホールド機能



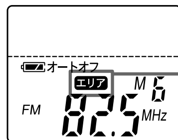
ホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、表示窓に「o━╥」が点灯し、すべてのボタン操作を受け付けなくなります。
不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

選局方法について

選局方法には3種類あります。
スーパーエリアコール選局、マイメモリー選局、マニュアル選局のいずれかで受信します。

スーパーエリアコール選局

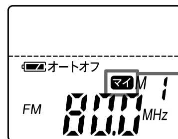
本機には、あらかじめ全国の主な放送局とサテライト局が地域別に記憶されています。
ラジオをお使いの地域で地域番号を設定しておくと、プリセット選局ボタンを押して聞きたい放送局を簡単に選局できます（25ページ参照）。



スーパーエリアコール選局で受信しているときに表示

マイメモリー選局

自分でいつも聞く放送局を記憶させることができます。
プリセット選局ボタンを押して、聞きたい放送局を受信します（30ページ参照）。

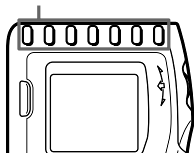


マイメモリー選局で受信しているときに表示

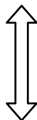
マニュアル選局

ジョグレバーを動かして、ラジオの周波数を変え、聞きたい放送局の周波数に合わせます（33ページ参照）。

プリセット選局ボタン



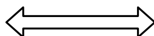
スーパーエリアコール選局

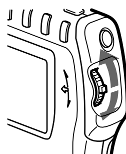


設定ボタンを押して
ジョグレバーを動かし
選局モードを選び
ジョグレバーを押して
切り換える。

マイメモリー選局

ジョグレバーを押して
バンドを選び
ジョグレバーを動かして
聞きたい放送局に
合わせる。

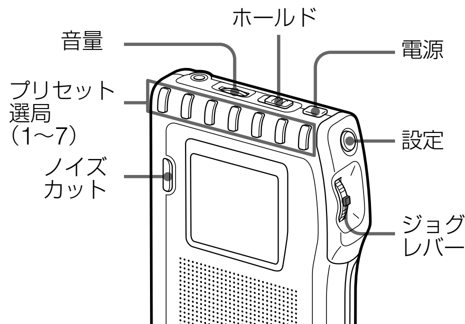




マニュアル選局

現在いる地域の放送を聞く—スーパーエリアコール選局

ラジオをお使いの地域で地域番号を設定しておくと、プリセット選局ボタンを押すだけで、その地域の放送局を簡単に選局できます。



地域区分

地域番号	地域名	地域
1	**北海道**	北海道
2	**東北1**	青森　秋田　岩手
3	**東北2**	宮城　山形　福島
4	**関東1**	千葉　埼玉　東京　神奈川
5	**関東2**	茨城　群馬　栃木
6	**中部**	山梨　静岡　長野
7	**東海**	愛知　岐阜　三重
8	**北陸**	新潟　富山　石川　福井
9	**近畿1**	大阪　京都　兵庫
10	**近畿2**	滋賀　奈良　和歌山
11	**中国**	鳥取　島根　岡山　広島　山口
12	**四国**	徳島　香川　愛媛　高知
13	**九州1**	福岡　佐賀　長崎　大分
14	**九州2**	熊本　宮崎　鹿児島　沖縄
15	**JR**	

- JRは新幹線で使うときに選びます。
  東海道、山陽新幹線の新型車両に限ります。グリーン車内ではご使用になれない場合があります。

1　イヤーレシーバーで聞く場合、◎端子にイヤーレシーバーをつなぐ。

スピーカーでTV、FM放送を聞く場合も、イヤーレシーバーを必ずつないでください。コードがアンテナとして働きますので長く伸ばしてください。

2　電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。

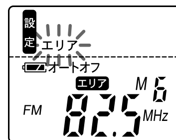
表示窓に「o━┳」が表示されている場合は、ホールド機能（22ページ）を解除してください。

3　◎（イヤーレシーバー）／◁（スピーカー）切り換えスイッチで◎または◁を選ぶ。

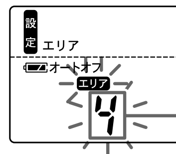
◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

4　設定ボタンを押す。

5　ジョグレバーを動かして「エリア」を選び、ジョグレバーを押す。

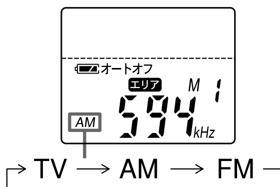


6　ジョグレバーを動かして地域を選び、ジョグレバーを押す。



7 ジョグレバーを押してバンドを選ぶ。

押すたびにバンド表示が変わります。



8 プリセット選局ボタン（1〜7）を押して、聞きたい放送局を選ぶ。

放送局はあらかじめプリセット選局ボタンに記憶されています。詳しくは「周波数一覧表」をご覧ください。
プリセット選局ボタンを2秒以上押していると、マイメモリーに記憶してしまうのでご注意ください（30ページ参照）。

9 音量つまみで音量を調節する。

一度スーパーエリアコール選局をすれば

選局モードを「エリア」にし、プリセット選局ボタンを選ぶだけで選局できます。

1 電源を入れる。

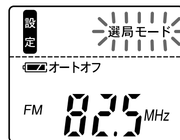
表示窓に「O━┳」が表示されている場合は、ホールド機能（22ページ）を解除してください。

2 ⑨（イヤーレシーバー）／◁（スピーカー）切り換えスイッチで⑨または◁を選ぶ。

⑨を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 設定ボタンを押す。

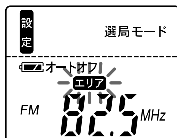
4 ジョグレバーを動かして「選局モード」を選び、ジョグレバーを押す。



次ページへつづく

ラジオを聞く

5 ジョグレバーを動かして「エリア」を選び、ジョグレバーを押す。



6 プリセット選局ボタン（1～7）を押して、聞きたい放送局を選ぶ。

スーパーエリアコール選局では良く聞こえないときは

サテライト局を選ぶことができます。

サテライト局とは、お聞きになっている地域で同じ内容を放送している局です。地域によっては一部放送内容が異なる場合があります。

1 電源を入れる。

表示窓に「o━」が表示されている場合は、ホールド機能（22ページ）を解除してください。

2 ◎（イヤーレシーバー）／◁（スピーカー）切り換えスイッチで◎または◁を選ぶ。

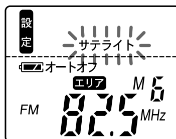
◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 **プリセット選局ボタン（1〜7）を押して、周波数を変えたい局を選ぶ。**

プリセット選局ボタンを2秒以上押していると、マイメモリーに記憶してしまうのでご注意ください（30ページ参照）。

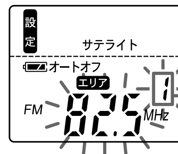
4 **設定ボタンを押す。**

5 **ジョグレバーを動かして「サテライト」を選び、ジョグレバーを押す。**



6 **ジョグレバーを動かして、良く聞こえる周波数が表示されたらジョグレバーを押す。**

例）関東1／NHK FMの場合



→1 82.5↔2 80.7↔3 81.9←
→ • • • • • • • • • • • 5 ↔4 83.5←

サテライト局を変更する

手順3からやり直してください。

ご注意

- 放送局の中にはサテライト局を持たない局もあります。その場合、ジョグレバーを操作しても周波数は変わりません。
- マイメモリー選局やマニュアル選局ではこの機能は働きません。

ラジオの電源を切る

電源ボタンを押します。

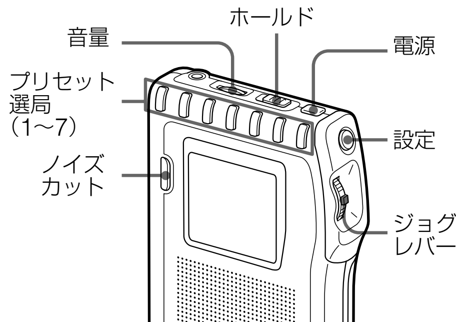
ご注意

- ラジオの電源が切れているときは、地域を切り換えられません。
- ラジオをお使いの地域以外の地域を選んでも、放送局を受信できることがあります。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く

—マイメモリー選局

いつも聞く放送局をTV、FM、AM合わせて7局まで記憶させることができます。聞くときは、プリセット選局ボタンを選ぶだけで受信できます。



放送局を記憶させる

1 イヤーレシーバーで聞く場合、⑨端子にイヤーレシーバーをつなぐ。

スピーカーでTV、FM放送を聞く場合も、イヤーレシーバーを必ずつないでください。コードがアンテナとして働きますので長く伸ばしてください。

2 電源を入れる。

表示窓に「o━」が表示されている場合は、ホールド機能(22ページ)を解除してください。

3 ⑨（イヤーレシーバー）／◁（スピーカー)切り換えスイッチで⑨または◁を選ぶ。

⑨を選ぶとスピーカーから音は出ません。

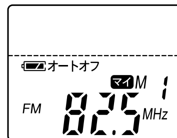
4 記憶させる放送局を受信する。

スーパーエリアコール選局(25ページ)またはマニュアル選局(33ページ)で放送局を選びます。

5 記憶させたいプリセット選局ボタン（1〜7）を選んで、「ピピッ」と音がするまで2秒以上押したままにする。

6 「選局モード」が表示されたらプリセット選局ボタンから指を離して、ジョグレバーで「エリア」または「マイ」を選び、ジョグレバーを押す。

例）プリセット選局ボタン「1」にスーパーエリアコール選局で選局したFMの82.5 MHz（NHK FM）を記憶させたときの表示

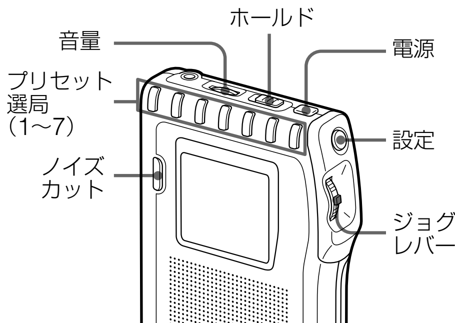


記憶させた放送局を変更する

手順4からやり直してください。
前に記憶させた放送局は消えます。

ラジオを聞く

記憶させた局を聞く



1 電源を入れる。

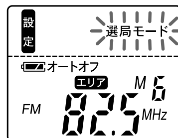
表示窓に「o━┳」が表示されている場合は、ホールド機能（22ページ）を解除してください。

2 ◎（イヤーレシーバー）／◁（スピーカー）切り換えスイッチで◎または◁を選ぶ。

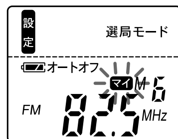
◎を選ぶとスピーカーから音は出ません。

3 設定ボタンを押す。

4 ジョグレバーを動かして「選局モード」を選び、ジョグレバーを押す。



5 ジョグレバーを動かして「マイ」を選び、ジョグレバーを押す。

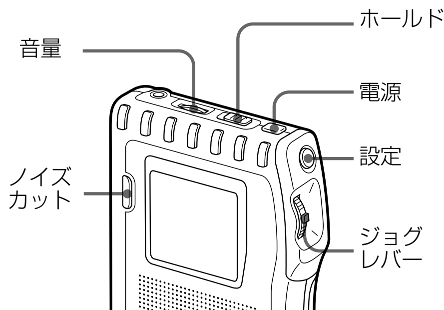


6 プリセット選局ボタン（1〜7）を押して、聞きたい放送局を選ぶ。

7 音量つまみで音量を調節する。

周波数を選んで聞く

—マニュアル選局



1 イヤーレシーバーで聞く場合、⑨端子にイヤーレシーバーをつなぐ。

スピーカーでTV、FM放送を聞く場合も、イヤーレシーバーを必ずつないでください。コードがアンテナとして働きますので長く伸ばしてください。

2 電源を入れる。

表示窓に「o━╥」が表示されている場合は、ホールド機能（22ページ）を解除してください。

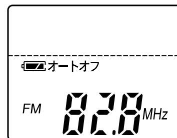
3 ⑨(イヤーレシーバー)／◁(スピーカー)切り換えスイッチで⑨ または◁ を選ぶ。

⑨を選ぶとスピーカーから音は出ません。

4 ジョグレバーを押して、バンドを選ぶ。

5 ジョグレバーを動かして、聞きたい放送局に合わせる。

ジョグレバーを1回動かすごとに周波数が変わります（FMでは0.1MHz、AMでは9kHz、TVでは1チャンネルずつ）。放送局の周波数が合うと、放送が聞こえます。



6 音量つまみで音量を調節する。

その他

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高いところ（40℃以上）。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー風呂場など湿気の多いところ。
  ー窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  ーほこりの多いところ。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがあります。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口（裏表紙）、ソニーサービス窓口に相談してください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
ラジオの音がまったく聞こえない	乾電池の⊕⊖が逆になっている。	乾電池の⊕と⊖を正しく入れ直す（12ページ）。
	乾電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
	音量が最小になっている。	音量つまみで音量を調節する。
雑音が多く、音が悪い	乾電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
	電波が弱い。	建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。
	イヤーレシーバーをつないでいなかったり、伸ばしていない（TV、FM受信時）。	イヤーレシーバーを🎧端子につなぎ、できるだけ長く伸ばす（TV、FM受信時はイヤーレシーバーがアンテナになります）。
表示窓の文字や記号が見づらい	極端に暑い場所や寒い場所で使っている。	温度が高いところ（40°C以上）や低いところ（0°C以下）では表示が見にくくなることがあります。常温になればもとに戻ります。

次ページへつづく

症状	原因	処置
プリセット選局ボタンを押しても、聞きたい放送局が受信できない	正しい番号のプリセット選局ボタンを押していない。	聞きたい放送局のプリセット選局ボタンを押す。
	正しい地域を選んでいない。	設定メニューで「エリア」を選んで、現在ラジオを使っている地域を設定する（25ページ）。 それでも受信できない場合は設定メニューで「サテライト」を選んで、サテライト局を設定する。 地域によって記憶されている放送局は異なります。付属の「周波数一覧表」をご覧ください。
マイメモリー選局ができない	「選局モード」が「マイ」になっていない。	もう一度マイメモリー選局を設定する（30ページ）。
ラジオの電源が突然切れた	乾電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
	パワーオートオフ機能が働いている。電源を入れてから設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れるようになっています（20ページ）。	パワーオートオフ機能を解除する（20ページ）。

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

主な仕様

受信周波数　TV：1-12チャンネル*[1]
FM：76～108 MHz
AM：531～1,710 kHz
スピーカー　直径2.8 cm、丸形7.2Ω 1個
出力端子　◎端子（Φ3.5 mmミニジャック モノラル）1個
実用最大出力　80 mW（JEITA*[2]）
電源　DC 3 V、単4形乾電池 2個
パワーオートオフ機能
約30分、60分、90分、120分、解除の5段階
最大外形寸法（突起部含まず）　約55 × 91 × 13.5 mm
約56.8 × 91.7 ×13.8 mm（突起部含む）
（幅/高さ/奥行）（JEITA）
質量　約68 g（乾電池含む）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*[1] 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

*[2] JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

ソニー単4形（R03）乾電池（2）
イヤーレシーバー（1）
イヤーアタッチメント（1）
キャリングケース（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
周波数一覧表（1）

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。	**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2511



修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。



左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「304」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Japan